

屋台出店者 学祭ごみ対策説明会

楽しい学祭ではかなりの量のごみが出ます。最近では社会でもごみの分別・リサイクルがあたりまえになり、他大学の学祭も色々な取り組みをしています。そんな中、私たちの飛鳥祭でもすべきことがあると考え、学祭ごみ対策に取り組みます。

飛鳥祭ごみ対策

『ごみ6分別』

缶・ビン・ペットボトル・屋台トレー・わりばし・その他ごみ・食べ残し の7分別を行います。

『リサイクルトレーの斉導入』

昨年に引き続き、トレーのリサイクルに取り組みます。採用するミンミ・リ・リパックは、プラスチック製のトレーにフィルムが張ってあり、回収時に洗う必要がありません。トレー本体は工場で再びトレーの原料になります。

トレーのリサイクルを行うには個別回収が必要で、それには全体での斉導入が合理的です。各屋台がそれぞれで用意するのではなく同じ業者から一斉に購入します。トレーを一種類に統一することで捨てる側に分かりやすい表示ができ、回収作業も簡単になります。

商品を渡す時には「このトレーはリサイクルします。フィルムは剥がしてその他ごみに、トレーは回収箱へ入れて下さい」と、声かけをお願いします！

『ゴミステーションの設置』

校内の通常のごみ箱は使わず、分別仕様のごみ箱+指導スタッフ付の「ゴミステーション」を設置します。

『割り箸リサイクル』

昨年に引き続き割り箸のリサイクルに取り組みます。回収した割り箸は、王子製紙の工場で紙の原料になります。

『学生ごみ対策スタッフ』

ごみ対策が充実してくると同時に、エコプロだけでは追いつかなくなってきました。また、飛鳥祭は近農生がみんなで開催する学祭で、楽しい学祭を運営すると同時にごみに対してもみんなが意識を持つ必要があると考えました。そこで、学生の中からもスタッフを集めることになりました。一般の学生からはポスターを貼って任意ということで募集します。それとは別に、屋台を出店する各団体は、1名人員を出してほしいと考えています。

屋台はトレーや割り箸を“使う側”の立場として、ご理解をお願いしたいと思います。

屋台を出店する各団体は、ごみ対策スタッフとして1名人員を出して下さい。

当日は分別指導スタッフ・リサイクル作業・回収作業などを2時間担当してもらいます。



屋台ごみ管理に関する注意点

○屋台で出たごみは、パンフレットの分別方法に従って分別してからごみステーションへ持ってきて下さい。
(ひとまとめにしまい、ごみ箱前で分別する光景が毎年見られます。ごみの散乱にもなり不衛生です。)

○以下のものは回収しません。各屋台側で処理してください。

ガスボンベ 発泡スチロール 乾電池 クギ ネジ その他金属類 焦げた鍋 壊れた調理器具
割れた食器 調理で余った油 など

※ガスボンベは完全にガスを抜いてあれば缶として回収します。

※調理で余った油は固めてあればその他ごみで回収します。

○ダンボールや木材などの屋台ごみは、資材置き場へ直接持って行ってください。

○ごみステーションには分別指導スタッフが駐在しているので、次のような行為を見つけた場合は、もう一度分別してもらうか、持ち帰りをお願いします。

※屋台側で処理しなければならないごみを、ごみ箱前に置き逃げする。

※屋台で出たごみをひとまとめにし、ごみ箱前に置き逃げする。

